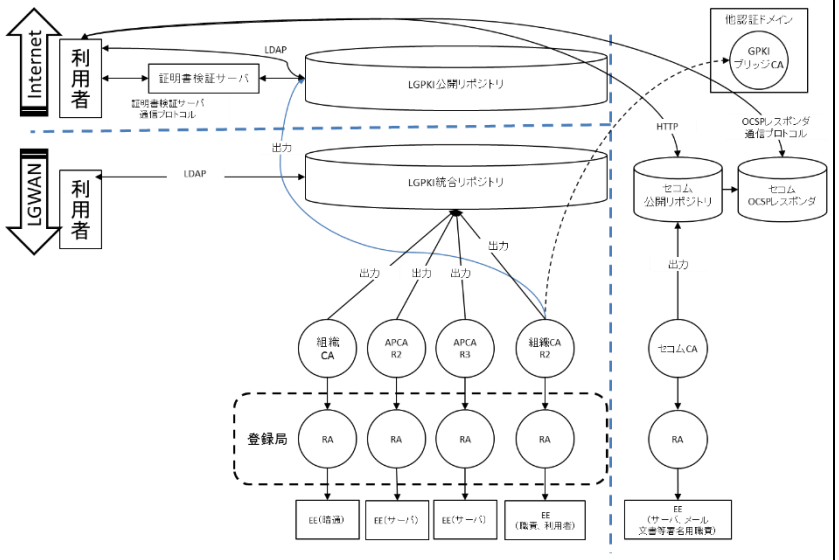
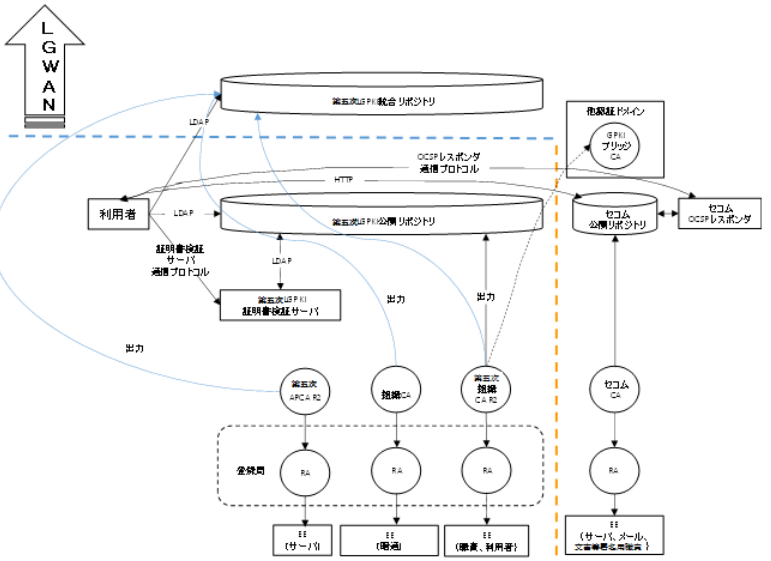
Page	新文書	旧文書	備考	差分
				(略)
新: i 旧: i	第２．３版	第２．２版		変更
				(略)
新: i 旧: i	令和７年４月１７日	令和６年１１月１６日		変更
				(略)
新: ii 旧: ii	１.１.　概要	１.１.　概要		変更
				(略)
新: ii 旧: ii	２.２.　LGPKI 組織 CA	２.２.　LGPKI 組織 CA		変更
新: ii 旧: ii	２.３.　LGPKI 組織 CA R2	２.３.　第五次 LGPKI 組織 CA R2		変更
新: ii 旧: ii	２.４.　LGPKI アプリケーション CA R2、アプリケーション CA R3（LGWAN 内部環境用）	２.４.　第五次 LGPKI アプリケーション CA R2（LGWAN 内部環境用）		変更

Page	新文書	旧文書	備考	差分
				(略)
新: ii 旧: ii	２.５.１. LGPKI 公開リポジトリ	２.５.１. 第五次 LGPKI 公開リポジトリ		変更
新: ii 旧: ii	２.５.２. LGPKI 統合リポジトリ	２.５.２. 第五次 LGPKI 統合リポジトリ		変更
新: ii 旧: ii	**２.６. LGPKI 証明書検証サーバ**	**２.６. 第五次 LGPKI 証明書検証サーバ**		変更
新: ii 旧: ii	**２.７. Security Communication RootCA2**	**２.７. Security Communication RootCA2**		変更
旧: ii		**２.８. セコムパスポート for Web SR3.0 CA**		移動
旧: ii		**２.９. セコムパスポート for PublicID CA**		移動
新: ii 旧: ii	**２.８. SECOM Document Signing RSA Root CA 2023**	**２.１０. SECOM Document Signing RSA Root CA 2023**		変更
新: ii	**２.９. セコムパスポート for Web SR3.0 CA**			移動
新: ii	**２.１０. セコムパスポート for PublicID CA**			移動

Page	新文書	旧文書	備考	差分
				(略)
新:1 旧:1	LGPKI は、LGPKI 組織 CA 及び LGPKI 組織 CA R2（以下「組織 CA 等」という。）を中心とした認証基盤である。	LGPKI は、LGPKI 組織 CA 及び第五次 LGPKI 組織 CA R2（以下「組織 CA 等」という。）を中心とした認証基盤である。		削除
				(略)
新:1 旧:1	● LGPKI 組織 CA R2	● 第五次 LGPKI 組織 CA R2		削除
新:1 旧:1	● LGPKI アプリケーション CA R2	● 第五次 LGPKI アプリケーション CA R2		削除
新:1	● LGPKI アプリケーション CA R3			追加
新:1 旧:1	● LGPKI 公開リポジトリ	● 第五次 LGPKI 公開リポジトリ		削除
新:1 旧:1	● LGPKI 統合リポジトリ	● 第五次 LGPKI 統合リポジトリ		削除
新:2 旧:2	● LGPKI 証明書検証サーバ	● 第五次 LGPKI 証明書検証サーバ		削除

Page	新文書	旧文書	備考	差分
				(略)
新:4 旧:4				変更
				(略)
新:5 旧:5	LGPKI は、組織 CA 等（組織 CA 等発行局及び登録局（以下「RA」という。））、LGPKI アプリケーション CAR2、アプリケーション CAR3、LGPKI 公開リポジトリ及び LGPKI 統合リポジトリ（以下、総称して「リポジトリ等」という。）、LGPKI 証明書検証サーバ、セコムトラストシステムズ株式会社の運用する認証サービス、セコム公開リポジトリ、セコム OCSP レスポンダから構成される。	LGPKI は、組織 CA 等（組織 CA 等発行局及び登録局（以下「RA」という。））、第五次 LGPKI アプリケーション CAR2、第五次 LGPKI 公開リポジトリ及び第五次 LGPKI 統合リポジトリ（以下、総称して「リポジトリ等」という。）、第五次 LGPKI 証明書検証サーバ、セコムトラストシステムズ株式会社の運用する認証サービス、セコム公開リポジトリ、セコム OCSP レスポンダから構成される。		変更
				(略)

Page	新文書	旧文書	備考	差分
新:5 旧:5	● 自己署名証明書の発行及び LGPKI 統合リポジトリへの格納	● 自己署名証明書の発行及び第五次 LGPKI 統合リポジトリへの格納		削除
				(略)
新:5 旧:5	2．2．　LGPKI 組織 CA R2	2．2．　第五次 LGPKI 組織 CA R2		削除
新:6 旧:6	LGPKI 組織 CAR2 は他認証ドメインに属する CA（以下「他 CA」という。）の公開鍵を含む相互認証証明書の発行、失効、更新を行う。	第五次 LGPKI 組織 CAR2 は他認証ドメインに属する CA（以下「他 CA」という。）の公開鍵を含む相互認証証明書の発行、失効、更新を行う。		削除
新:6 旧:6	LGPKI 組織 CAR2 は LGPKI 組織 CAR2 が発行した相互認証証明書を含む相互認証証明書ペアと、失効情報をリポジトリ等の LGPKI 組織 CAR2 エントリに格納する。	第五次 LGPKI 組織 CAR2 は第五次 LGPKI 組織 CAR2 が発行した相互認証証明書を含む相互認証証明書ペアと、失効情報をリポジトリ等の第五次 LGPKI 組織 CAR2 エントリに格納する。		削除
新:6 旧:6	LGPKI 組織 CAR2 は証明書の発行、失効、更新を行う。また各種証明書と失効情報（CRL/ARL）をリポジトリ等に格納する。	第五次 LGPKI 組織 CAR2 は証明書の発行、失効、更新を行う。また各種証明書と失効情報（CRL/ARL）をリポジトリ等に格納する。		削除
新:6 旧:6	LGPKI 組織 CAR2 には RA が存在する。RA は証明書所有者の身元を保証し、証明書に含まれる公開鍵と一致する秘密鍵を確実に証明書所有者が持っていることを保証する。また、相互認証証明書に含まれる公開鍵が確実にその CA の公開鍵であり、CA がこの公開	第五次 LGPKI 組織 CAR2 には RA が存在する。RA は証明書所有者の身元を保証し、証明書に含まれる公開鍵と一致する秘密鍵を確実に証明書所有者が持っていることを保証する。また、相互認証証明書に含まれる公開鍵が確実にその CA の公開鍵であり、CA がこの公開鍵に一致する秘密鍵を持っていることを保証する。		削除

Page	新文書	旧文書	備考	差分
	鍵に一致する秘密鍵を持っていることを保証する。			
				(略)
新:6 旧:6	LGPKI 組織 CAR2 は以下の機能を備える。	第五次 LGPKI 組織 CAR2 は以下の機能を備える。		削除
				(略)
新:8 旧:8	**2．4．LGPKI アプリケーション CA R2、アプリケーション CA R3（LGWAN 内部環境用）**	**2．4．第五次 LGPKI アプリケーション CA R2（LGWAN 内部環境用）**		変更
				(略)
新:8 旧:8	LGPKI アプリケーション CA R2、LGPKI アプリケーション CA R3 は証明書の発行、失効、更新を行う。また各種証明書と失効情報（CRL）を LGPKI 統合リポジトリに格納する。	第五次 LGPKI アプリケーション CA は証明書の発行、失効、更新を行う。また各種証明書と失効情報（CRL）を第五次 LGPKI 統合リポジトリに格納する。		変更
新:8 旧:8	LGPKI アプリケーション CA R2、LGPKI アプリケーション CA R3 には RA が存在する。RA は証明書所有者の身元を保証し、証明書に含まれる公開鍵と一致する秘密鍵を確実に証明書所有者が持っていることを保証する。	第五次 LGPKI アプリケーション CA には RA が存在する。RA は証明書所有者の身元を保証し、証明書に含まれる公開鍵と一致する秘密鍵を確実に証明書所有者が持っていることを保証する。		変更
				(略)

Page	新文書	旧文書	備考	差分
新:8 旧:8	LGPKI アプリケーション CA CA R2、LGPKI アプリケーション CA R3 は以下の機能を備える。	第五次 LGPKI アプリケーション CA は以下の機能を備える。		変更
				(略)
新:8 旧:8	● 自己署名証明書の発行と LGPKI 統合リポジトリへの格納	● 自己署名証明書の発行と第五次 LGPKI 統合リポジトリへの格納		削除
				(略)
新:8 旧:8	● 自 CA が発行した証明書に関する失効要求の受け付け、失効情報の発行と LGPKI 統合リポジトリへの格納	● 自 CA が発行した証明書に関する失効要求の受け付け、失効情報の発行と第五次 LGPKI 統合リポジトリへの格納		削除
				(略)
新:8 旧:8	2．5．1．LGPKI 公開リポジトリ	2．5．1．第五次 LGPKI 公開リポジトリ		削除
新:8 旧:8	LGPKI 公開リポジトリは、証明書の有効性検証に必要な各種証明書、CRL/ARL を格納する。また、LDAPv3(389/tcp)を備えており、各 PKI コンポーネントからの証明書、CRL/ARL の検索、取り出し、格納が行える。	第五次 LGPKI 公開リポジトリは、証明書の有効性検証に必要な各種証明書、CRL/ARL を格納する。また、LDAPv3(389/tcp)を備えており、各 PKI コンポーネントからの証明書、CRL/ARL の検索、取り出し、格納が行える。		削除
				(略)

Page	新文書	旧文書	備考	差分
新:8 旧:8	LGPKI 公開リポジトリは以下の機能を備える。	第五次 LGPKI 公開リポジトリは以下の機能を備える。		削除
				(略)
新:8 旧:8	● LGPKI 組織 CA R2 の自己署名証明書の格納	● 第五次 LGPKI 組織 CA R2 の自己署名証明書の格納		削除
				(略)
新:8 旧:8	2．5．2．LGPKI 統合リポジトリ	2．5．2．第五次 LGPKI 統合リポジトリ		削除
新:8 旧:8	LGPKI 統合リポジトリは、証明書の有効性検証に必要な各種証明書、CRL/ARL を格納する。また、LDAPv3(389/tcp)を備えており、各 PKI コンポーネントからの証明書、CRL/ARL の検索、取り出し、格納が行える。	第五次 LGPKI 統合リポジトリは、証明書の有効性検証に必要な各種証明書、CRL/ARL を格納する。また、LDAPv3(389/tcp)を備えており、各 PKI コンポーネントからの証明書、CRL/ARL の検索、取り出し、格納が行える。		削除
				(略)
新:8 旧:8	LGPKI 統合リポジトリは以下の機能を備える。	第五次 LGPKI 統合リポジトリは以下の機能を備える。		削除
				(略)

Page	新文書	旧文書	備考	差分
新:8 旧:8	● LGPKI 組織 CA R2 の自己署名証明書の格納	● 第五次 LGPKI 組織 CA R2 の自己署名証明書の格納		削除
新:9 旧:9	● LGPKI アプリケーション CA R2 の自己署名証明書の格納	● 第五次 LGPKI アプリケーション CA R2 の自己署名証明書の格納		削除
新:9	● LGPKI アプリケーション CA R3 の自己署名証明書の格納			追加
				(略)
新:9 旧:9	2. 6. LGPKI 証明書検証サーバ	2. 6. 第五次 LGPKI 証明書検証サーバ		削除
新:9 旧:9	LGPKI 証明書検証サーバは、検証要求者が指定した証明書の妥当性を検証し、その検証要求者に証明書の検証結果を返すサーバである。証明書認証パス構築と各証明書の有効性に関する検証も可能なプロトコルを使用する。	第五次 LGPKI 証明書検証サーバは、検証要求者が指定した証明書の妥当性を検証し、その検証要求者に証明書の検証結果を返すサーバである。証明書認証パス構築と各証明書の有効性に関する検証も可能なプロトコルを使用する。		削除
				(略)
新:9 旧:9	LGPKI 証明書検証サーバは相互運用に関する機能として以下を備える。	第五次 LGPKI 証明書検証サーバは相互運用に関する機能として以下を備える。		削除

<table>
<tr><th>Page</th><th>新文書</th><th>旧文書</th><th>備考</th><th>差分</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(略)</td></tr>
<tr><td>新:9
旧:9</td><td>● LGPKI 証明書検証サーバ自身の証明書の発行要求、発行された証明書の受け入れ</td><td>● 第五次 LGPKI 証明書検証サーバ自身の証明書の発行要求、発行された証明書の受け入れ</td><td></td><td>削除</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(略)</td></tr>
<tr><td>新:13
旧:13</td><td>● OCSP レスポンダへの問い合わせ機能、LGPKI 証明書検証サーバへの問い合わせ機能、もしくは証明書検証サーバ等と同等の証明書検証機能</td><td>● OCSP レスポンダへの問い合わせ機能、第五次 LGPKI 証明書検証サーバへの問い合わせ機能、もしくは証明書検証サーバ等と同等の証明書検証機能</td><td></td><td>削除</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(略)</td></tr>
<tr><td>新:14
旧:14</td><td>表 2-1 に各認証情報と LGPKI 公開リポジトリへの格納・削除・更新の関係を示し、次節以降で格納形式等を記述する。</td><td>表 2-1 に各認証情報と第五次 LGPKI 公開リポジトリへの格納・削除・更新の関係を示し、次節以降で格納形式等を記述する。</td><td></td><td>削除</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(略)</td></tr>
<tr><td>新:14
旧:14</td><td>表 2-1 認証情報の LGPKI 公開リポジトリへの格納・削除・更新</td><td>表 2-1 認証情報の第五次 LGPKI 公開リポジトリへの格納・削除・更新</td><td></td><td>削除</td></tr>
<tr><td>新:15
旧:15</td><td>
<table>
<tr><th></th><th>LGPKI 組織 CA の処理</th><th>LGPKI 組織 CA R2 の処理</th></tr>
</table>
</td><td>
<table>
<tr><th></th><th></th><th>LGPKI 組織 CA の処理</th><th>第五次 LGPKI 組織 CA R2 の処理</th></tr>
<tr><td rowspan="2">相互認証証明書</td><td>格納</td><td>－</td><td>○</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>－</td><td>○</td></tr>
</table>
</td><td></td><td>削除</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>Page</th><th>新文書</th><th>旧文書</th><th>備考</th><th>差分</th></tr>
<tr>
<td></td>
<td>
<table>
<tr><td rowspan="3">相互認証証明書</td><td>格納</td><td>－</td><td>○</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>－</td><td>○</td></tr>
<tr><td>更新</td><td>－</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">エンドエンティティ用証明書</td><td>格納</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>更新</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">自己署名証明書</td><td>格納</td><td>－</td><td>○</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>－</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">リンク証明書</td><td>格納</td><td>－</td><td>○</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>－</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">失効情報</td><td>格納</td><td>－</td><td>○</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>－</td><td>○</td></tr>
<tr><td>更新</td><td>－</td><td>○</td></tr>
</table>
</td>
<td>
<table>
<tr><td></td><td>更新</td><td>－</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">エンドエンティティ用証明書</td><td>格納</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>更新</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">自己署名証明書</td><td>格納</td><td>－</td><td>○</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>－</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">リンク証明書</td><td>格納</td><td>－</td><td>○</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>－</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">失効情報</td><td>格納</td><td>－</td><td>○</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>－</td><td>○</td></tr>
<tr><td>更新</td><td>－</td><td>○</td></tr>
</table>
</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>（略）</td></tr>
<tr><td>新:16
旧:16</td><td>表２－２に各認証情報と LGPKI 統合リポジトリへの格納・削除・更新の関係を示し、次節以降で格納形式等を記述する。</td><td>表２－２に各認証情報と第五次 LGPKI 統合リポジトリへの格納・削除・更新の関係を示し、次節以降で格納形式等を記述する。</td><td></td><td>削除</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>Page</th><th>新文書</th><th>旧文書</th><th>備考</th><th>差分</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(略)</td></tr>
<tr><td>新:16
旧:16</td><td>
<table>
<tr><th></th><th></th><th>組織 CA の処理</th><th>組織 CAR2 の処理</th><th>アプリケーション CAR2 の処理</th><th>アプリケーション CA3 の処理</th></tr>
<tr><td rowspan="3">相互認証証明書</td><td>格納</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>更新</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">エンドエンティティ用証明書</td><td>格納</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>更新</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自己署名証明書</td><td>格納</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>
</td><td>
<table>
<tr><th></th><th></th><th>組織 CA の処理</th><th>第五次組織 CAR2 の処理</th><th>第五次アプリケーション CAR2 の処理</th></tr>
<tr><td rowspan="3">相互認証証明書</td><td>格納</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>更新</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">エンドエンティティ用証明書</td><td>格納</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>更新</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">自己署名証明書</td><td>格納</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">リンク証明書</td><td>格納</td><td>○</td><td>○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>○</td><td>○</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">失効情報</td><td>格納</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>更新</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>
</td><td></td><td>変更</td></tr>
</table>

Page	新文書	旧文書	備考	差分
	<table><tr><td></td><td>削除</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>リンク証明書</td><td>格納</td><td>○</td><td>○</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td></td><td>削除</td><td>○</td><td>○</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>失効情報</td><td>格納</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td></td><td>削除</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td></td><td>更新</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr></table>			
				（略）
新:17 旧:17	ア） LGPKI 組織 CAR2 の CA エントリへの格納	ア）第五次 LGPKI 組織 CAR2 の CA エントリへの格納		削除
新:17 旧:17	LGPKI 組織 CAR2 が他 CA へ発行した、あるいは他 CA から発行された相互認証証明書のリポジトリ等への格納は、次の形式で行う。	第五次 LGPKI 組織 CAR2 が他 CA へ発行した、あるいは他 CA から発行された相互認証証明書のリポジトリ等への格納は、次の形式で行う。		削除
				（略）

<table>
<tr><th>Page</th><th>新文書</th><th>旧文書</th><th>備考</th><th>差分</th></tr>
<tr>
<td>新:15

旧:15</td>
<td>
<table>
<tr><td>格納するエントリ</td><td colspan="2">LGPKI 組織 CAR2 の CA のエントリ</td></tr>
<tr><td>格納するエントリが持たなければならないオブジェクトクラス</td><td colspan="2">PkiCA
(joint-iso-itu-t(2) ds(5) objectClass(6) pkiCA(22))</td></tr>
<tr><td>格納する属性名</td><td colspan="2">crossCertificatePair 属性</td></tr>
<tr><td>属性値の型</td><td colspan="2">CertificatePair</td></tr>
<tr><td rowspan="2">格納するフィールド</td><td>Forward フィールド</td><td>他 CA が LGPKI 組織 CA の公開鍵に署名した相互認証証明書</td></tr>
<tr><td>Reverse フィールド</td><td>LGPKI 組織 CA が他 CA の公開鍵に署名した相互認証証明書</td></tr>
<tr><td>複数 CA と相互認証した場合の属性値の扱い</td><td colspan="2">相互認証した CA ごとに別の属性値として格納する</td></tr>
</table>
</td>
<td>
<table>
<tr><td>格納するエントリ</td><td colspan="2">第五次 LGPKI 組織 CAR2 の CA のエントリ</td></tr>
<tr><td>格納するエントリが持たなければならないオブジェクトクラス</td><td colspan="2">PkiCA
(joint-iso-itu-t(2) ds(5) objectClass(6) pkiCA(22))</td></tr>
<tr><td>格納する属性名</td><td colspan="2">crossCertificatePair 属性</td></tr>
<tr><td>属性値の型</td><td colspan="2">CertificatePair</td></tr>
<tr><td rowspan="2">格納するフィールド</td><td>Forward フィールド</td><td>他 CA が第五次 LGPKI 組織 CA の公開鍵に署名した相互認証証明書</td></tr>
<tr><td>Reverse フィールド</td><td>第五次 LGPKI 組織 CA が他 CA の公開鍵に署名した相互認証証明書</td></tr>
<tr><td>複数 CA と相互認証した場合の属性値の扱い</td><td colspan="2">相互認証した CA ごとに別の属性値として格納する</td></tr>
</table>
</td>
<td></td>
<td>削除</td>
</tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(略)</td></tr>
</table>

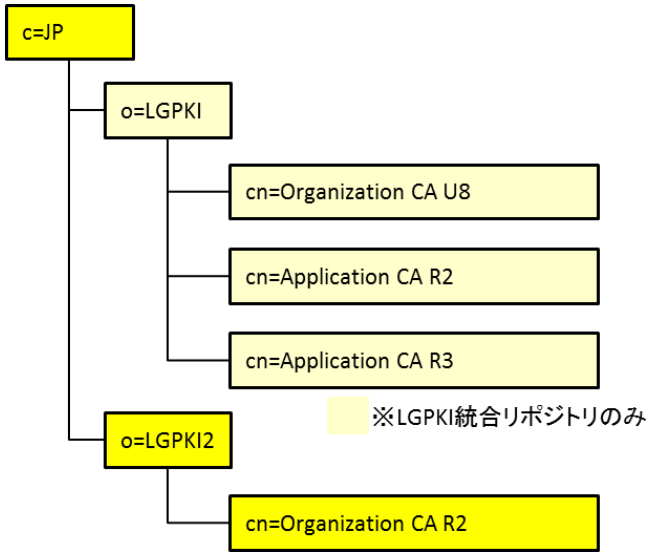
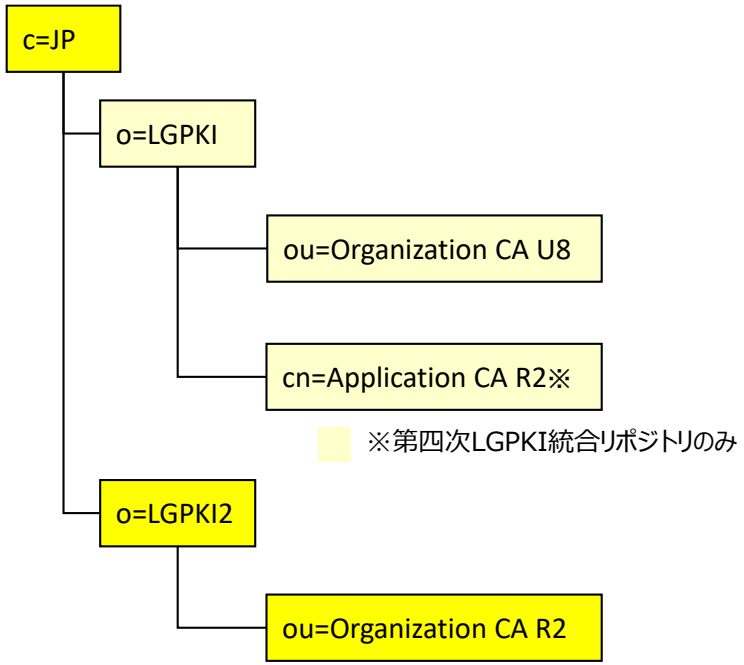
Page	新文書	旧文書	備考	差分
新:19 旧:19	組織 CA 等、LGPKI アプリケーション CAR2、アプリケーション CAR3 が自らの公開鍵に自らの秘密鍵で署名して発行した自己署名証明書及びリンク証明書のリポジトリ等への格納は、次の形式で行うものとする。なお、LGPKI 組織 CA は、自己署名証明書及びリンク証明書の LGPKI 公開リポジトリへの格納は行わない。	組織 CA 等及び第五次 LGPKI アプリケーション CAR2 が自らの公開鍵に自らの秘密鍵で署名して発行した自己署名証明書及びリンク証明書のリポジトリ等への格納は、次の形式で行うものとする。なお、LGPKI 組織 CA は、自己署名証明書及びリンク証明書の第五次 LGPKI 公開リポジトリへの格納は行わない。		変更
				(略)
新:20 旧:20	CA が発行した証明書の証明書失効リストは、各証明書の cRLDistributionPoint 拡張に示されたエントリ、または CA のエントリに格納するものとする。なお、LGPKI 組織 CA は、失効情報の LGPKI 公開リポジトリへの格納は行わない。	CA が発行した証明書の証明書失効リストは、各証明書の cRLDistributionPoint 拡張に示されたエントリ、または CA のエントリに格納するものとする。なお、LGPKI 組織 CA は、失効情報の第五次 LGPKI 公開リポジトリへの格納は行わない。		削除
				(略)
新:23 旧:23	なお、LGPKI 組織 CA R2 の発行する証明書の名義（Subject）を表 3-1、表 3-2 に、セコムパスポート for Web SR3.0 CA が発行する Web サーバ証明書の名義（Subject）を表 3-3 に、セコムパスポート for PublicID CA が発行するメール用証明書の名義（Subject）を表 3-4 、文書等署名用職責証明書の名義（Subject）を表 3-5 に、LGPKI 組織 CA の発行する暗号化通信用等証明書の名義（Subject）を表 3-6 に示す。	なお、第五次 LGPKI 組織 CA R2 の発行する証明書の名義（Subject）を表 3-1、表 3-2 に、セコムパスポート for Web SR3.0 CA が発行する Web サーバ証明書の名義（Subject）を表 3-3 に、セコムパスポート for PublicID CA が発行するメール用証明書の名義（Subject）を表 3-4 、文書等署名用職責証明書の名義（Subject）を表 3-5 に、LGPKI 組織 CA の発行する暗号化通信用等証明書の名義（Subject）を表 3-6 に示す。		削除

Page	新文書	旧文書	備考	差分
				(略)
新:26 旧:26	LGPKI では基本的に LGPKI 公開リポジトリを使用し各種証明書や失効情報（CRL/ARL）を公開するものとする。そのため、登録内容に基準が無ければ、認証パスの構築や検証の際に参照できなくなってしまう。	LGPKI では基本的に第五次 LGPKI 公開リポジトリを使用し各種証明書や失効情報（CRL/ARL）を公開するものとする。そのため、登録内容に基準が無ければ、認証パスの構築や検証の際に参照できなくなってしまう。		削除
				(略)
新:29 旧:29	subject や issuer で使用される DN を記述する文字コードについては、原則として UTF8 String を用いる。ただし、アプリケーション CA R2、アプリケーション CA R3 から発行される証明書については、当面 Printable String で発行する。	subject や issuer で使用される DN を記述する文字コードについては、原則として UTF8 String を用いる。ただし、アプリケーション CA 等から発行される証明書については、当面 Printable String で発行する。		変更
				(略)
新:30 旧:30	LGPKI では、LGPKI 証明書検証サーバは LGPKI 組織 CA R2 によって認証される。また、証明書検証サーバを利用するのは、LGPKI 組織 CA R2 をトラストアンカーとする地方公共団体の職責者もしくはそれに準ずる証明書検証者である。また、検証対象となる証明書は、LGPKI が発行する証明書のほかに、LGPKI 組織 CA R2 が相互認証している他 CA が発行した証明書である。LGPKI 証明書検証サーバは、LGPKI が発行した証明書を検証する者に対し、証明書検証という非常に複雑な処理の代行や、さらに、LDAP による LGPKI 公	LGPKI では、第五次 LGPKI 証明書検証サーバは第五次 LGPKI 組織 CA R2 によって認証される。また、証明書検証サーバを利用するのは、第五次 LGPKI 組織 CA R2 をトラストアンカーとする地方公共団体の職責者もしくはそれに準ずる証明書検証者である。また、検証対象となる証明書は、LGPKI が発行する証明書のほかに、第五次 LGPKI 組織 CA R2 が相互認証している他 CA が発行した証明書である。第五次 LGPKI 証明書検証サーバは、LGPKI が発行した証明書を検証する者に対し、証明書検証という非常に複雑な処理の代行や、さらに、LDAP による第五次 LGPKI 公開リポジトリへのアクセスが困難な者に対し、		削除

Page	新文書	旧文書	備考	差分
	開リポジトリへのアクセスが困難な者に対し、各種認証情報を提供する等、LGPKI が発行した証明書を検証する側の負担を軽減するものである。	各種認証情報を提供する等、LGPKI が発行した証明書を検証する側の負担を軽減するものである。		
				(略)
新:30 旧:30	本章では、まず LGPKI 組織 CA R2 が提供する LGPKI 証明書検証サーバについて記述し、その後証明書を発行する LGPKI 組織 CA R2 と、LGPKI 証明書検証サーバを利用する利用者クライアントが満たすべき仕様について記述する。	本章では、まず第五次 LGPKI 組織 CA R2 が提供する第五次 LGPKI 証明書検証サーバについて記述し、その後証明書を発行する第五次 LGPKI 組織 CA R2 と、第五次 LGPKI 証明書検証サーバを利用する利用者クライアントが満たすべき仕様について記述する。		削除
				(略)
新:30 旧:30	LGPKI 証明書検証サーバの証明書は、LGPKI 組織 CA R2 が発行する。また、証明書検証サーバの証明書の extendedKeyUsage には id-kp-OCSPSigning を設定する。	第五次 LGPKI 証明書検証サーバの証明書は、第五次 LGPKI 組織 CA R2 が発行する。また、証明書検証サーバの証明書の extendedKeyUsage には id-kp-OCSPSigning を設定する。		削除
				(略)
新:30 旧:30	LGPKI 証明書検証サーバを利用するクライアントが備えているべき点を記述する。	第五次 LGPKI 証明書検証サーバを利用するクライアントが備えているべき点を記述する。		削除
				(略)
新:30	LGPKI 証明書検証サーバのレスポンスデータに含ま	第五次 LGPKI 証明書検証サーバのレスポンスデータに		削除

Page	新文書	旧文書	備考	差分
旧:30	れる署名を検証する必要があるため、クライアントは自分の利用する LGPKI 証明書検証サーバの署名を検証するのに必要な下記の情報を設定する必要がある。	含まれる署名を検証する必要があるため、クライアントは自分の利用する第五次 LGPKI 証明書検証サーバの署名を検証するのに必要な下記の情報を設定する必要がある。		
				(略)
新:31 旧:31	LGPKI 証明書検証サーバとの通信プロトコルについては、別添 1 に示す。	第五次 LGPKI 証明書検証サーバとの通信プロトコルについては、別添 1 に示す。		削除
				(略)
新:31 旧:31	LGPKI 証明書検証サーバは、公的個人認証サービスから発行された証明書の検証を行う際、公的個人認証サービスの失効情報を参照する。LGPKI では、LGPKI 証明書検証サーバの利用に当たって、公的個人認証サービスから失効情報の参照が許可された地方公共団体からの利用だけに限ることとする。	第五次 LGPKI 証明書検証サーバは、公的個人認証サービスから発行された証明書の検証を行う際、公的個人認証サービスの失効情報を参照する。LGPKI では、第五次 LGPKI 証明書検証サーバの利用に当たって、公的個人認証サービスから失効情報の参照が許可された地方公共団体からの利用だけに限ることとする。		削除
				(略)
新:32 旧:32	LGPKI では、セコムトラストシステムズ株式会社が運用する各認証サービスの OCSP レスポンダを利用する。この OCSP レスポンダについてはセコムトラストシステムズ株式会社が運用する各認証サービスのリポジトリで公開する CP、CPS を参照のこと。	LGPKI では、第五次 LGPKI にて、セコムトラストシステムズ株式会社が運用する各認証サービスの OCSP レスポンダを利用する。この OCSP レスポンダについてはセコムトラストシステムズ株式会社が運用する各認証サービスのリポジトリで公開する CP、CPS を参照のこと。		削除

Page	新文書	旧文書	備考	差分
				(略)
新:33 旧:33	DIT の第一階層は国、第二階層は LGPKI（"LGPKI"、"LGPKI2"）コンテナとする。第三階層は、"LGPKI"以下に LGPKI 組織 CA、LGPKI アプリケーション CAR2、"LGPKI2"以下に LGPKI 組織 CA R2 とする。	DIT の第一階層は国、第二階層は LGPKI（"LGPKI"、"LGPKI2"）コンテナとする。第三階層は、"LGPKI"以下に LGPKI 組織 CA、第五次 LGPKI アプリケーション CAR2、"LGPKI2"以下に第五次 LGPKI 組織 CA R2 とする。		削除
新:33 旧:33	なお LGPKI においては、発行する証明書の subject や issuer で使用される DN を記述する文字コードが Printable String の CA と UTF8String の CA がある。LGPKI 組織 CA 及び LGPKI 組織 CA R2 の文字コードは UTF8String である。	なお LGPKI においては、発行する証明書の subject や issuer で使用される DN を記述する文字コードが Printable String の CA と UTF8String の CA がある。LGPKI 組織 CA 及び第五次 LGPKI 組織 CA R2 の文字コードは UTF8String である。		削除
				(略)
新:33 旧:33				変更

<table>
<tr><th>Page</th><th>新文書</th><th>旧文書</th><th>備考</th><th>差分</th></tr>
<tr>
<td></td>
<td> 
</td>
<td> 
</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>（略）</td>
</tr>
<tr>
<td>新:34
旧:34</td>
<td>
<table>
<tr><th>階層</th><th>識別属性型</th><th>属性値として取り得る値</th></tr>
<tr><td>第一階層</td><td>c</td><td>"JP"</td></tr>
<tr><td>第二階層</td><td>o</td><td>"Local Goverments"、"LGPKI"、"LGPKI2"、"地方公共団体"</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第三階層</td><td>ou</td><td>”Organization CA U8”、”Organization CA R2”</td></tr>
<tr><td>cn</td><td>“Application CA R2”、 “Application CA R3”</td></tr>
</table>
</td>
<td>
<table>
<tr><th>階層</th><th>識別属性型</th><th>属性値として取り得る値</th></tr>
<tr><td>第一階層</td><td>c</td><td>"JP"</td></tr>
<tr><td>第二階層</td><td>o</td><td>"Local Goverments"、"LGPKI"、"LGPKI2"、"地方公共団体"</td></tr>
<tr><td rowspan="3">第三階層</td><td>ou</td><td>”Organization CA U8”、 ”Organization CA R2”</td></tr>
<tr><td>cn</td><td>“Application CA R2”</td></tr>
<tr><td>l</td><td>都道府県域名</td></tr>
<tr><td>第四階層</td><td>ou</td><td>地方公共団体名</td></tr>
<tr><td>第五階層以下</td><td>ou</td><td>地方公共団体内各組織・部門</td></tr>
</table>
</td>
<td></td>
<td>追加</td>
</tr>
</table>

Page	新文書	旧文書	備考	差分
	<table><tr><td></td><td>l</td><td>都道府県域名</td></tr><tr><td>第四階層</td><td>ou</td><td>地方公共団体名</td></tr><tr><td>第五階層 以下</td><td>ou</td><td>地方公共団体内各組織・部門</td></tr><tr><td>リーフ</td><td>cn</td><td>名義（役職名義）</td></tr></table>	<table><tr><td>リーフ</td><td>cn</td><td>名義（役職名義）</td></tr></table>		
				（略）
新:42 旧:42	CA 名称（LGPKI 組織 CA（"Organization CA U8"））あるいは LGPKI 組織 CA R2（" Organization CA R2”）を格納する属性として、organizationalUnit オブジェクトクラスの必須属性である ou 属性を用いる。	CA 名称（LGPKI 組織 CA（"Organization CA U8"））あるいは第五次 LGPKI 組織 CA R2（" Organization CA R2”）を格納する属性として、organizationalUnit オブジェクトクラスの必須属性である ou 属性を用いる。		削除
新:42 旧:42	CA 名称（LGPKI アプリケーション CA R2（"Application CA R2"）、LGPKI アプリケーション CA R3（"Application CA R3"））を格納する属性として、organizationalRole オブジェクトクラスの必須属性である cn 属性を用いる。	CA 名称（第五次 LGPKI アプリケーション CA R2（"Application CA R2"））を格納する属性として、organizationalRole オブジェクトクラスの必須属性である cn 属性を用いる。		変更
				（略）
新:43 旧:43	自己署名証明書及びリンク証明書は、LGPKI 組織 CAR2 が持つ。	自己署名証明書及びリンク証明書は、第五次 LGPKI 組織 CAR2 が持つ。		削除
				（略）

Page	新文書	旧文書	備考	差分
新:44 旧:44	LGPKI 組織 CAR2 の CA エントリでは、他 CA との間で取り交わした相互認証証明書が、pkiCA オブジェクトクラスの設定上追加必須属性である crossCertificatePair 属性に格納される。	第五次 LGPKI 組織 CAR2 の CA エントリでは、他 CA との間で取り交わした相互認証証明書が、pkiCA オブジェクトクラスの設定上追加必須属性である crossCertificatePair 属性に格納される。		削除
				(略)